

湖東・湖北

毎月第3日曜日発行

2022 3月号

Vol.148

毎日ナビ

毎日新聞湖北ブロック会 協賛

毎日新聞湖北ブロック会事務局 (毎日新聞長浜販売所)

滋賀県長浜市小堀町 347-5 TEL.0749-62-0954

制作 / オフィスイしやま (毎日新聞大津販売)

湖北



長浜市のがん検診受診率について説明する藤井登さんに
県のがんと向き合う週間(2月4〜10日)に合わせ、長浜市や市民団体「よりよいがん医療をめざす近江の会」などが同5〜16日まで長浜市高田町のながはま文化福祉プラザで「がんを知ろう展示会」を開いた。肺や大腸などのがんについての情報やがん患者の体験談、2019年の市民のがん受診率の表がパネルで展示された。

相談コーナーも設置された。【長浜通信部・長谷川隆広】

長浜

「がん」を知る展示会 経験者からのアドバイスも

湖東

彦根

「まるで高級ホテル」彦根工高に新トイレ

県立彦根工業高校(彦根市南川瀬町)で今年初め、生徒用の新しいトイレ(多目的用途含め15カ所)が完成した。2020年から施工業者と生徒たちが何度も意見交換。壁、各部デザインなどに希望を取り入れた。特に第2本館1階の女子トイレでは、中央にアイランド形式の手洗い場を設けている。同高の女子比率は全体の1割強だが、「豪華ホテルにきた気分」と好評だという。今年

来年度は校舎の外壁に映写する「プロジェクトシヨマツピング」、VR(仮想現実)技術の実習などにも取り組むという。



彦根工業高の新しいトイレ 同高提供

彦根通信部・伊藤信司

小中学生の書き初め展 高揚感伝わる力作並ぶ

長浜



展示された作品を見る親子連れ

長浜、米原両市の小中学生の作品を展示する「湖北児童生徒書き初め展」が1月29日〜2月7日にかけて長浜市大島町の長浜文化芸術会館で開催された。児童・生徒が書いた作品の中から各小中学校で選ばれた

た1164点が並んだ。1月27日に審査があり、同市立木之本小1年の山田碧生さんの作品など特選に輝いた17点や、準特選の232点も含まれている。いずれも力作ぞろい、書き生ぎと書けている。「素直で力のぬけた筆づかい」「リズム感のある運筆」など、審査員から高く評価された。県書道協会の押谷達彦副理事長は「良い意味で『墨が多い』という印象。書いたものの高揚感が伝わってくる。今年は書くことが大好きな人の作品がものすごく多くて楽しい審査でした」と講評した。【長浜通信部・長谷川隆広】

サウナ・露天風呂つき客室 琵琶湖畔の宿「双葉荘」

彦根

彦根市松原町の「びわ湖畔味覚の宿 双葉荘」(片岡哲司社長)にサウナと露天風呂、水風呂を備えた客室が完成した。プライベートサウナでは、アロマオイルや伊吹の薬草の香り楽しみながら汗を流せる。その後、ベランダにある信楽焼の浴槽につかり、琵琶湖を眺めるのがおすすめだという。晴れた日には対岸の山々も見渡せる。客室はそんな景色にちなんで「比良」と名付けられた。1泊2食付きで大人1人4万4000円から。詳細はホームページ(<https://www.tutabasoh.com/>)。問い合わせは0749・22・2667。



新しい客室のベランダ=双葉荘提供

彦根通信部・伊藤信司

双葉荘は創業約半世紀。「琵琶湖周航の歌」を奏でるロビーのオルゴール▽地場産材のソファ▽近江牛など名産品を使った会席料理▽老若男女の従業員による「親身の接客」などを掲げている。【彦根通信部・伊藤信司】